

第四九回日本
母親大会が8月
2、3日、秋田
県で開催され
た。

初日はあきた
スカイドームで
全体会を行っ
た。記念講演で
は元東北学院大
学助教授の川端
純四郎さんが自
身の体験から平
和の大切さを語
りかけた。

一日目は秋田経済法科
大学を会場に、子供・教
育・暮らし・権利・平和

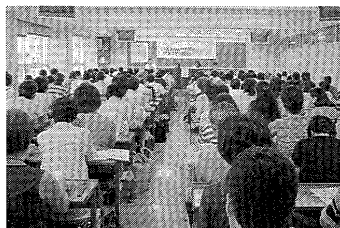


全体会が行われたあきたスカイドーム

と民主主義・女性の地位
向上などをテーマにした
四五の分科会が開かれ、
二日間でのべ二万七千人

の参加となった。
民放労連女性協会は分科
会で「いまあらためて問
う、マスコミの役割」を
担当。参加者からの様々
な質問に講師のジャーナ
リスト斎藤貴男さん
から簡潔な回答をい
たいた。

別の分科会の様
子を紹介すると
「シンポジウム・
核兵器もテロも戦
争もない21世紀を
く世界を動かすビ
ーアクション」
―では、美帆・



満員の分科会会場

第49回日本母親大会

母親が変われば社会が変わる

8月2、3日
秋 田

シボさん(フランス広島
長崎研究所)、朴慶雨さ
ん(作家)、川村俊太さ
ん(憲法改正阻止各界連
絡会、斎藤重一さん(秋
田県原水協)、鈴木孝
人(秋田県労働者学習協
会)の五人をパネリスト
に迎え、それぞれの思い
が語られた。中でもおさ
んの「何を忘れても命さ

え忘れなければ取り返し
がつく」という言葉は、
この分科会のテーマのす
べてを言い尽くしてい
た。ほかに、秋田県は出
身や所属の関係なく行っ
た共同行動が長く続く
い県であることも紹介さ
れた。

分科会後半は、出席者
からの熱心な質問や、普
段感じていることの発表
などがあった。草の根的
な反戦・平和運動を普遍
から行っている人々が集
まっているためか、その
大切さを再確認した。

地元、秋田放送労組の
みなさんにも参加いた
いた。ご協力ありがとうございました。

退職が相次ぎ、現在女性ア
ナは一人。
長崎国際テレビ産休が
無給のため、継続して有給
を要求。

「東京支社に働く女性の
集い」(二〇回を記念して私
たちの四〇年)の資料を作
成。第二〇回の集いは遠方
からの参加も得て成功を収
めた。

女性協拡大常任委員会開かれる 現状、成果と意見交換

7月12、13日、東京で女
性協拡大常任委員会が開催
され、五地連一支部連、本
部女性協を含め二一人が出
席した。

一日目は各地連女性協か
ら春夏闘争の総括について
報告があった。また、定期
大会の議案書については、
より活用してもらうために
課題別の部分や制度一覧表
についてデータをファイル
として配れるような方法を
検討してみることなどが話
し合われた。

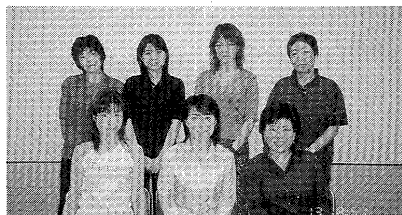
一日目は東京で開催され
た「第四〇回全国女性のつ
どい」の会計報告があり、
来年の近畿地連開催につい
て意見交換をした。

以下に各地連の報告要旨
を記す。(欠席の地連は資
料から抜粋)

▼東北地連 ▲
一六単組中、六単組から
回答。
青森放送は、時金を支給し
ようとしたが、組合員は受
け取りを拒否し、スト決行。
団交報告を全社員に配布。
青森テレビは春の人事異
動で初の女性部長が誕生。
青森ケーブルテレビは日
姓使用について会社と交渉
中。9時から17時30分の就
業時間について会社から雇
用要求を労務に直接相

▼近畿地連 ▲
朝日放送は育児時短につ
いて制度の改善があった。
関西テレビは育児休業で
子が満一歳の3月31日まで
となった。

読売テレビは看護師(女
性)三人が社員化。子育て
介護要求を労務に直接相



拡大常任に参加したみなさん

談、調整できる制度ができ
た。

▼北信越地連 ▲
北陸放送は来年度の新規
採用はなく、女性アナウン
サーの採用は契約社員の
み。

北日本放送は昇格により
組合員が減少、女性部が解
散。顧問弁護士を招いてセ
クハラに関する勉強会を開
催。

富山テレビは96年以來、
この春女性社員を一人採
用。北信越では女性組合員
とのコンタクトが課題。

▼中四国地連 ▲
広島ホームテレビは新人
事制度は条件つきで受
結女性管理職が産休、
育休明けには仮の管理
職というランクにな
り、復帰後の業績で格
下げもありうる。

テレビ新広島は新人
事制度を二年間開いた続
け、管理職にも入れて
いない。

中国放送はセクハラ
委員会が設置され(社
員で構成)研修が行わ
れ、運営方法を検討中。

▼九州地連 ▲
九州朝日放送はキャリア
を積んだ女性へのいやら
せともとれる異動が昨今目
立つ。女性部のみならず執
行部からも会社への説明責
任を求める。

テレビ西日本は宿直室の
設備改善が緊急の課題。
テレビ長崎は若い社員の
退職が相次ぎ、現在女性ア
ナは一人。

長崎国際テレビ産休が
無給のため、継続して有給
を要求。

▼沖縄地連 ▲
各単組共通して女性の雇
用率の引き上げが課題。女
性の新規採用を求める。

▼東京支部連 ▲
「東京支社に働く女性の
集い」(二〇回を記念して私
たちの四〇年)の資料を作
成。第二〇回の集いは遠方
からの参加も得て成功を収
めた。



女性協議会